

野口英世の生涯

1876年に福島県猪苗代町三城瀧で長男として生まれ野口清作と言う名が付けられるだが母しかが目をはなしているすきに清作はいろりに落ちてしまい1才にして手に大火傷を負う6才になり三つ和小学校に入り手ん棒と言う徒名が付き学校でいじめられるでも清作は勉強をし続けた10才になり清作は1優しゅうな生徒になり先生の代わりに先生をする生長となりました(1年後けんたい山噴火)

1889年に三つ和小学校卒業し猪苗代高等小学校入学する

1892年に友人達の寄付金により手を手術を受ける

1893年に猪苗代高等を卒業し病院に薬学生として入門・・・

やがて野口清作は歯医者 of 学撲となる柴三郎のいる伝染病研究場に勤務

英世と改名

1918年母のシカが死んでしまう

1919年黄熱病研究のためメキシコにいつてしまう

1927年トラホーム病原体を発見しアフリカ1928年黄熱にかかり生涯の幕を閉じる



まとめ

野口英世はみんなのために黄熱病の研究をしてくれました。ぼくもみんなのためになることをする人になりたいです。だから野口英世のような人を手本にしてこれから生活していきたいです。それにぼくは、歴史のことが好きなのでこれからも歴史の人物のことを調べていきたいです。